

・ガードの調整は、工具を使わないで簡単な操作でできるもの

③可動式ガード（工具を使用しないで開くことができる）

③－１インターロック付きガード

・ガードを閉じないと、当該の危険な機械機能の運転を開始できない

・運転中にガードを開くと、機械停止指令を発報する

注意：停止に時間がかかり危険となる場合は、これを選択することはできない。その場合は、次の③－２を選択すること。

③－２施錠式インターロック付きガード

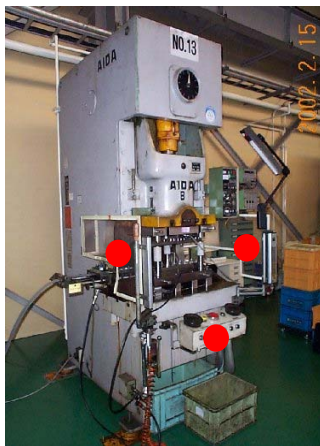
インターロック装置とガード施錠装置を共に備えた形式のガード。

・ガードで覆われた危険な機械機能は、ガードが閉じた上、施錠されないと運転できない

・危険な機械機能の運転が停止しないと開錠できず、またガードを開くこともできない

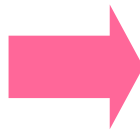
規格では

危険源を設計方策により適切に除去できない、又はリスクを低減できない場合、危険源への暴露を制限する、危険事象の発生確率を低減する、又は危害回避若しくは制限を向上させるために**安全防護策(ガード及び保護方策)**を適用しなければならない。



前面エリアセンサーのみの設置

● リスクアセスメント後の改良箇所



前面：ライトカーテン
侵入可能領域：固定ガードによる隔離

図 19：ガードの例